

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
風で動く車	中	せいかつ (理科)	中川彩加

<ねらい>

- ・身の回りのことを理解し、生活経験を広げる。
- ・身近な自然や様々な事象に触れ、興味をもつ。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

【作成方法】

- ・プラスチック段ボールを適度な大きさに切る。
- ・ペットボトルキャップ中央に桐で穴を開ける。
- ・段ボールの隙間に竹串を通してペットボトルキャップを接着剤で固定。
- ・スポンジを段ボールにつける。（場所は自分で考える。）
- ・好きな絵を描いた厚紙（風を受ける“帆”の役割）をスポンジに刺して、完成。

【使用方法】

- ・アイテムを複数用意し、好きなアイテムを選んで風をおこした。  
（小型扇風機、内輪、ストロー、息 など）
- ・スタートとゴールの位置を決め、誰が一番速く薦められるか時間を競った。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・作り方が簡単で、少しの風で車が動くので、活動時間以外も興味をもって車を動かそうとする姿が見られた。
- ・強い風を起こした方がより車が進むことを体感的に知ることができた。
- ・作り方によって、まっすぐに進まないことがあった。

<その他（材料、費用、購入先等）>

プラスチック段ボール、竹串2本、ペットボトルキャップ4個、スポンジ（激落ちくん）、厚紙

